

(別紙4(2))

事業所名 グループホームチアフル音明かり

目標達成計画

作成日: 令和 元年 9月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	利用者により良いケアを行うには家族の連携が重要である。職員は受け身であり、関わることに消極的である。	現在の暮らしについて、今後の暮らしについて等、職員は家族の思いを尊重し、互いに情報共有を行いながら、本音で意見や要望が伝えられる関係づくりを行う	面会時に業務的な挨拶のみではなく近況報告や質問相談ができ、家族の気持ちを聞き取ることができる	12ヶ月
2	21	利用者それぞれ認知症の状態が違い、利用者同士がうまく関わりが持てず、時には強い口調になることがある。職員が仲介に入る等の支援が必要である。	職員が仲介に入ることにより、言い合いや、悪口、強い口調になることがないような環境を作る	各利用者のADLや認知症の症状等も考慮し1人1人の気持ちを引き出せるよう関わっていくことができる	12ヶ月
3	38	職員の決まり事や都合が優先され、利用者中心のケアになっていない	一人一人の希望やペースに合わせた暮らしの支援をしていく	業務を行う際に、利用者を巻き込み日常生活活動という意識が薄れている。何か作業を行う場合は、利用者も巻き込んで楽しみながらできる工夫をしていく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(別紙4(2))

事業所名グループホームチアフル詩明かり

目標達成計画

作成日: 令和 1 年 9 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	利用者様に良いケア・生活をして頂くのは当然である。しかし相手任せにせずご利用者様の現状・状態を伝え、寄り添う気持ちを持って頂きたい。	家族様とのコミュニケーションを図りながらお互いの思いが話し合える関係になりたい。	①面会時挨拶。②近くに行きゆっくり世間話をしながら現状を伝える。 ③現状を伝えながらご家族様の要望・悩みなどを聞ける環境を作り、信頼関係を作りたい。	12ヶ月
2	21	利用者様同士の関係づくり	相手の表情を見て悪口・いじめの減少	①何もされていないのにその表情を見て悪口を言われるので仲介に入る。 ②利用者同士の関わりは職員が仲介に職員入り個々の役割・力量を把握し職員同士連携を図りながら関係を深めたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。